

しんおんせん 議会だより

Shinonsen Town Council News Letter

No. 57

令和2年(2020)
1月23日

おもな内容

新年のごあいさつ・議会構成 …	2
条例改正・補正予算 ほか …	3~5
一般質問 ……………	6~18
委員会報告 ……………	19~20
採決一覧・議会日誌 ………	21
みんなの広場 ……………	22

トピックス 桐岡区立木誤伐採事件の損害賠償額確定。町長・副町長の給与を減額
補正予算を修正可決。浜坂認定こども園整備、不動産鑑定料認められず



「とった !!」

温泉小学校・新春カルタ大会

新年のごあいさつ



新年明けましておめでとうございませう。

日ごろから、町政や議会活動に對しまして温かいご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年は、ラグビーワールドカップにおける日本代表の大活躍が、日本中を熱狂の渦に巻き込み、その精神に感銘を受けた人はとても多かったと思います。

そして、今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、世界の注目が集まります。社会の閉塞感や政治の淀みなどが払しょくされ、明るい社会に転換されることを強く期待しているところです。

さて、20年前の2000年、地方分権一括法が施行され、国が持っていた地方への決定権やお金を地方に移して、住民にとって身近なサービスはその自治体で決められるようになります。介護保険制度がスタートしたのも同年です。大きな社会の転換があり、「地方分権」が叫ばれてから、はや20年になります。

わが町の人口減少や超高齢化は、都市部と比べて大きく先行しています。人口減少のペースを緩やかにすることも大切ですが、例えば交通対策や買い物、地域の担い手をどう維持していくのかを具体的に考え、施策として実行することの方が、より緊急性が高く、住民の皆様が望んでおられることだと思っています。

これらのさまざまな課題の解決には、今まで以上に危機感とスピード感をもって取り組んでいかねばならず、ますます議会の持つ役割への期待が高まっていると思っています。

町議会といたしましても、町民の皆様の声をしっかりと聞き、中、行政と真摯に議論を重ね、ともに知恵を出し合って、将来を見据えたまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。町民の皆様の負託に応えるため、議員は「ワンチーム」となつて、「フーサイド」の精神で、努力していかねばならないと決意を新たにしているところです。

結びに、町民の皆様の積極的な参画をお願い申し上げるとともに、皆様にとりまして、健康で幸多き年でありますよう心からお祈りし、新年のごあいさつといたします。

新温泉町議会組織表

令和元年11月18日～

議 長	中井 勝	副 議 長	池田 宜広
委員会名	委員長	委 員 (○印は副委員長)	
総務産建常任委員会 7 人	中村 茂	○森田 善幸 竹内 敬一郎	池田 宜広 阪本 晴良 重本 静男 谷口 功
民生教育常任委員会 8 人	宮本 泰男	○河越 忠志 太田 昭宏 小林 俊之	平澤 剛太 岩本 修作 浜田 直子 中井 次郎
議会運営委員会 6 人	谷口 功	○阪本 晴良 宮本 泰男	岩本 修作 小林 俊之 中村 茂
議会広報調査特別委員会 6 人	阪本 晴良	○平澤 剛太 森田 善幸	河越 忠志 竹内 敬一郎 浜田 直子

議会選任議員等

美 方 郡 広 域 事 務 組 合	中井 勝 阪本 晴良	浜田 直子 中井 次郎	森田 善幸 小林 俊之
北 但 行 政 事 務 組 合	重本 静男	中村 茂	
監 査 委 員 (議会選出)	小林 俊之		

※監査委員は改選していない。

桐岡地区立木誤伐採事件の損害賠償額確定 町長・副町長の給与減額 !!

12月定例会のあらまし

第97回（令和元年12月）定例会が12月4日に招集され、17日まで14日間の会期で開催されました。町長提出案件は、条例案10件、事件案4件、補正予算案11件で合計25件が提出されました。審議の結果、令和元年度一般会計補正予算（第3号）は修正して可決。条例案1件は継続審議となり、その他は原案のとおり可決しました。

事件案

損害賠償の額の決定及び和解について【可決】

【説明】 桐岡区所有の立木の無断伐採に係るもの。

相手方・桐岡区長 金額95万1千円

【問】 今後の対策は。

【答】 担当課だけでなく、町全体の問題ととらえている。情報共有の徹底、職員研修を行う。

【問】 行政財産の処分としても、手続きが必要だ。その時点で誤りに気づけたのではないか。

【答】 土地の管理の範囲とを考えていた。今後は複数で確認する。

反対討論

谷口 功議員

区所有の立木を無断で伐採した損害賠償額の決定と、和解する提案であるが、一体どんな根拠に基づいて賠償するのか明らかにされていない。損害賠償額の95万1千円は、どんな根拠で算出されたのか不明である。原木市場でのセリ値は経費を除き25万5千円であり、およそ3・8倍の補償である。そのうえ、植林と10年間の育成管理まで行うものであり、適正妥当な賠償といえる根拠が示されていない。

令和元・2年度文化体育館夢ホール耐震補強・大規模改修等工事請負契約の締結について

【可決】

【説明】 耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊や崩壊の危険性が高いと確認されたため、耐震補強と老朽化した設備の改修を行うもの。契約額は7億4,250万円。相手方は株本・坂本特別共同企業体。

【問】 耐震結果の第3者機関による診断はしないとのことだったが、建築確認申請は。

【答】 民間の株兵庫確認検査機構に提出した。

公の施設に係る指定管理者の指定について

【可決】

施設の名称 商店街活性化拠点施設（杜氏館）指定管理者 湯村温泉観光協会

条例の改正

人事院勧告に伴う各条例の一部改正が提案され、可決した。ふるさとづくり寄付条例の一部改正については、規則との整合性に整理が必要とされ、所管委員会に附託、継続審議となった。

特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例の制定について

【可決】

【説明】 桐岡区所有の立木伐採に係る職員の過失に対して、管理者として自ら律するもの。

【問】 減給の根拠は。

【答】 過去の事例を考慮して決めた。

【問】 報酬減額と損害賠償額との差額は。

【答】 関係職員が自主的に返納する。

【問】 町が賠償し、賠償額相当を職員に求償するのが本来では。

【答】 今回は自主的に返納される。法の改正も予定されており、これを前例とすることはないと考えている。

反対討論

谷口 功議員

桐岡区所有の立木伐採は、どこに問題がありなぜ起こったのか、今後どのように対応するのか、十分に明らかにされていない。損害を賠償するために、町長・副町長が49万円余を負担することとしている。これは、賠償額の約半分余りを二人で負担するので、残りを関係職員で負担せよと言わんばかりの措置であり、残りの金額は数人の関係職員に「任意の返納」だと言っている。これらは、国家賠償法に反するものだ。

補正予算を修正可決

浜坂認定こども園整備の不動産鑑定料を認めず !!

補正予算

令和元年度一般会計補正予算第3号について

〔説明〕令和元年度一般会計の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億2,343万円を追加し、総額109億6,129万8千円とするもの。

ふるさと納税の実績増に伴う基金積立増額。奥八田交流施設企画設計委託料。県補助内容拡充に伴う保育料軽減事業補助金増額。浜坂認定こども園候補地の不動産鑑定料。有害鳥獣の捕獲実績増に伴う処理委託料増額、急傾斜地崩壊対策事業負担金増額。

民生費

認定こども園整備について

〔問〕大庭と浜坂2園存続の方針か。

〔答〕子どもの声が聞こえる地域。歩いて行ける園が理想。大庭は機能を特化して残す。浜坂病院も近いいため、病児保育を行う。人口減少に伴い、0才から2才を中心に考えていきたい。

〔問〕大庭は財政計画にも上がっていないが。

〔答〕有利な起債を検討する。浜坂道路ができれば、人口が増える方向も出てくる。

〔問〕3、4年後には園長になれる保育士がいなくなるが、どうする。

〔答〕職員募集の年齢を、40才代まで引き上げて対応する。

〔問〕浜坂認定こども園整備、不動産鑑定の対象は。

〔答〕現在地東側の候補地である。

〔問〕気象警報発令時の対応は。

〔答〕朝6時半までなら、登園しないよう連絡する。登園後の警報は、保護者に迎えに来てもらうのが、町立3園共通の取り扱いだ。

〔問〕過去の浸水事例は。

〔答〕今まで園舎の浸水はない。避難への不安や、移転の必要性の声も聞いたことはない。

〔問〕計画での開園時期は。この不動産鑑定料が認められない場合の影響は。

〔問〕衛生費 シカ等の運搬処理の手数料増額、町の有害鳥獣処理施設で対応

令和元年12月補正予算（一般会計 特別会計 企業会計）

（単位：千円）

会 計 名			補正額	追加補正額	補正後予算額
一 般 会 計			122,730	321	10,960,919
特 別 会 計	国民健康保険	事業勘定	27,000		1,601,659
		歯科診療所	274		55,124
	後期高齢者医療		△5,197		228,619
	介護保険事業		40,721		1,836,951
	浜坂地区残土処分場事業		25		1,411,711
	温泉地区残土処分場事業		77		53,568
公営企業会計（支出）	浜坂温泉配湯事業		24		63,329
	水道事業		105		1,007,494
	下水道事業		83		1,426,131
	公立浜坂病院事業		△29,657		1,674,778

〔問〕できないのか。

〔答〕道路管理で発生したシカ等の死体を処理するもの。町の施設では、ペットフードにするため対応できない。廃棄物として、猪名川の焼却施設まで運搬している。

令和元年度一般会計補
正予算(第3号)

修正動議

河越 忠志 議員

第二期浜坂認定こども園整備検討委員会のも園整備検討委員会を受けて、同園建替え候補地選定審査会が決定した現位置東側を用地取得するための不動産鑑定業務委託料70万円を減額する修正案。

本動議提出理由①

教育委員会としての「浜坂地域の認定こども園のあり方についての報告が合理性を欠いている。

本動議提出理由②

想定される自然現象等に対する、無条件の安全を確保できない現在の整備計画案では、行政の責任を果たせているとは言えず、再度見直すべきである。

修正案賛成討論

平澤 剛太 議員

修正案に賛成する。

浜坂認定こども園整備について、適切ではない候補地の不動産鑑定料は認められない。

用地取得の難易度が低いことに固執し、安定した保育の提供が難しくなるような場所を選んでいる。ヘリでの救助を盛り込む必要があるほど、浸水害でのリスクが高い。

次に、町長と当局の資質の問題がある。災害についての認識と理解が低い。園児を避難させる計画も信頼できるものではない。

したがって、あげられている候補地は、この先も長く、安心して子どもを預けられる環境ではない。

修正案反対討論

中井 次郎 議員

浜坂認定こども園不動産鑑定業務委託料の削減に反対する。

この業務委託料は、現在地での改築を行うための予算だ。私は現在地での早期の改築を求めるものである。

現在の建物は40年を経過し、危険建物に認定されている。建物や施設は、雨漏り、壁の落下、4歳児の部屋では床が大きくささくれ立っており、それをガムテープで一時的に修理してしのいでいるのが現状だ。窓のサッシも開閉が困難だ。

倉庫が狭く、これ以上道具は入らない。職員室も狭く、全職員が座るスペースもない。0歳児保育の要望も多く出されている。このようなことから、一日も早い改築が必要である。

修正案反対討論

浜田 直子 議員

現在の浜坂認定こども園舎は、危険建物となっている。

子ども達、お母さん、家族、地域の方々の切実な願いとして、こども園の一刻も早い現在地での整備が必要である。

安心して働くには、0歳児、病児・病後児の保育環境が大切。更なる安全対策については、施設整備で検討すべき。

整備検討委員会の現在地とする答申を尊重すると共に、新温泉町子どもの未来を考える会から900名超の「現在地で早期整備について」の要望書も出ている。

町民の声の届く町、届く議会となり、町が益々良くなるよう願う。

修正案反対討論

森田 善幸 議員

修正案に反対する。0歳児保育の需要は、ますます高まっている。

安全性が議論されているが、現こども園は40年の中で危険な状態になったことはないとの答弁である。

検討委員会の結論も全会一致である。

これ以上、改築が遅れると、若い世帯の流出がさらに進む恐れがあり、財源の確保にも問題が生ずる。

現地周辺での早期の改築を望んで、多くの署名が集まっている。議員は住民の代表である。民意を重視すべきである。

企画費

奥八田交流施設企画設計

施設整備の方針は、

小学校統廃合に伴

う地区との協議において、懸案だった事業。アドバイザーを交えて地区と協議し、方向性が整理できた。今後、具体的に計画を策定するもの。

問 アドバイザーとは誰か。予算は。

答 当初予算に計上している。過去に地域運営組織について講演した方だ。

高齢者の運転免許自主返納について

問 自主返納の実績が

上がっているのか。

答 当初予算40名で計上。補正で26名分増額。

問 バス以外の優遇はあるか。

答 町内の入浴施設で割引が受けられる。

その他の補正予算は右ページの表のとおり。人事院勧告に伴い、各会計で人件費に関する補正が提案され、可決した。

ずばり！ 町政を問う

一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長に求め、町民のための適切な行政運営を進めているかを点検することと、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

議会広報では、質問議員が自分の質問結果の原稿（1人1ページ）を起こし掲載しています。

頁	質問者及び質問事項	頁	質問者及び質問事項
7	河越 忠志 ①行政運営と議会との関係性について 事業推進の方法について「夢ホール耐震改修事業等を例に挙げて」 ②町の活性化施策の取組みについて（ふるさと納税制度活用・地域振興策から子育て・教育環境整備まで）	13	中井 次郎 ①浜坂認定こども園改築について ②温泉天国室と街づくり ③浜坂病院について
8	竹内 敬一郎 ①交通安全対策 ②人権について ③除雪路線の選定について	14	中村 茂 ①移住定住対策の現状と今後の方針 ②観光の拠点整備は官民一体で推進 ③町合併周年記念事業について
9	岩本 修作 ○浜坂認定こども園について	15	浜田 直子 ①町民の温泉利用促進について ②当町の魅力周知と増加を期待し、男性・女性も活躍できる町となるような対策について
10	森田 善幸 ①観光振興「来町者150万人達成のための計画」について ②観光振興「宿泊者数の増加のための施策」について ③観光振興と健康長寿の拠点リフレッシュ館の改修後の利活用について ④観光振興「ふるさと納税の利活用」 ⑤巨大風力発電事業の観光産業への影響	16	谷口 功 ①消費税増税は町民の暮らし・生業に何をもたらしたか ②激甚化する自然災害にどう対処するか ③浜坂認定こども園建て替えは現在地でよいのか
11	阪本 晴良 ①巨大風力発電について ②会計年度任用職員制度について ③浜坂地域の認定こども園の整備について ④熊谷小学校跡地活用について	17	太田 昭宏 ①中学生議会について ②人権について ③公立浜坂病院について ④教育の将来について
12	重本 静男 ①浜坂認定こども園の整備について ②ふるさと納税について ③鳥獣処理施設について	18	平澤 剛太 ①食育の位置づけと「地消地産」による農業振興 ②いじめの現状と対応状況 ③浜坂認定こども園整備

※質問は通告受け付け順に掲載しています。



河越 忠志 議員



町政運営の手法を見直すべき

町長 議会との協力以外、特段の変更は不要

現在の町政運営の手法を問う

問 町当局と議会との関係の中で、議会の理解を十分得て、速やかに事業が推進できるということが望ましいと考えるが、町長の認識はどうか。

町長 スムーズな町政運営を行う上で、議会と町当局は、車の両輪と同じ。十分な説明責任を果たしながら、お互い協力し合っていると考えている。

問 私も認識は同じ。しかし、現状としては、うまくいっていないと思う。そのため、議会と当局との考え方のすり合わせ方に何らかの修正や工夫が必要ではないか。

町長 常任委員会を通して、十分な説明をしていきたい。

問 実際に常任委員会ですべて説明しても、ほとんど結果報告になっている。常任委員会での意見を持ち帰って、改めて当局としての考え方を修正していく必要が生じる。それはスムーズではない。常任委員会だけでは足りない。特別な委員会等によって、大きな事業についての検討も必要ではないか。

町長 町政において、

議員のいろいろな意見を活かすということが、住民代表としての当然のスタンスだと思う。これまでから、そうやってきていると考えている。

問 今後、常任委員会での議員の反応や本会議の一般質問での意見を十分に受け止め、それを良い事業・町政運営につなげるためには、更なる工夫が必要だと思うが。

町長 20年近く議員をやってきた中で、町の方向性を決める上では、基本的に住民の思いが代弁される議員の意見が活かされるべきだと思う。町長になっても全く同じ。現状を把握し、事業のあり方を研究し、そしてそれを具体的にどうしたら

良い方向に進められるかとの思いでやっている。

夢ホール耐震改修工事について

問 当初の着工予定から相当遅れているが、その原因についての認識は。

町長 事業着手前に、いろんな観点で精査することが大前提だが、遅れの一番の原因は準備不足だと考えている。

問 安全確保は、一般

の方が思う以上に、行政は責任を持つべきだ。夢ホールの事業は町長が批判してきた「責任の丸投げ」ではないのか。

町長 職員の知識の不足はあったが、丸投げではない。

問 確認申請で、県と民間では万一の場合に補償の差が生じると考えるが。

町長 民間機関であっても、一定の制度の中で、必要な補償能力は担保されていると思う。



計画どおりの完成が望まれる夢ホール耐震改修

差別のない世界を作るためには対話が必要

町長 あいさつを基本にコミュニケーションを深めていくことが大事



竹内敬一郎 議員



交通安全対策

問 高齢運転者の交通事故防止のため、後づけ安全運転支援装置購入への補助をしてはどうか。

町長 兵庫県では、75歳以上を対象に補助制度が始まっている。庁舎及び支所の窓口チラシを置いて周知を図っている。今後、町も検討していく。

問 保育施設周辺でのキッズゾーンの整備は検討しているか。

町長 各園の危険箇所の調査を行っており、現在検討中である。

人権について

問 人権啓発推進条例が制定された背景は。

町長 町及び町民が力を合わせ、お互いの人権が尊重され、誇りを持てるまちづくりの実現を目的に、平成17年10月1日新町発足時に制定した。

問 同和問題をどのように認識しているのか。

町長 部落差別は、歴史的な流れの中で続いている。問題が早く解消されて、住みやすい環境になることを願っている。

問 本人通知制度は、知らない住民が多い。状況を伺う。

町長 町民安全課の窓口で啓発のパンフレットを置いてある。登録者が151人で、通知の数は延べ18件である。

問 子どもの人権学習について、学校での取り組みは。

教育長 人権感覚を身につけさせるため、道徳・福祉体験・特別活動等、全てのところで学習を進めている。子ども達に接する

人は、全てが教師となる。大人みずから教育を学び、成長していくことが、子どもにとって良い模範となると思うが、認識は。

教育長 私たち大人も人権感覚を磨くこと、学習することを怠ってはならないと思う。

問 人権学習・セミナー・講座等、数多く実施しているが、成果の見解は。



全ての人間が生まれながらに基本的人権を持っている。

町長 年間延べ3,000人が参加しており、少しずつ人権に対する意識の高まりを感じている。

問 差別することは、自分自身をおとしめることになる。一人一人がそのことに気づく人権学習が必要なのではないか。

町長 自らが差別をなくすためにどのような行動ができるか。自分と他人との関係を大切に、コミュニケーションを深めていくことが大事だと思う。

除雪について

問 池ヶ平・安泰寺は多くの外国人が修行にきている。町道池ヶ平線を除雪計画に取り扱ってはどうか。

町長 久斗山地域、周辺の意見、お寺の状況を聞き、検討していく。



岩本 修作 議員



なぜ、災害影響区域に該当する現在地に、園舎の建替えをするのか

町長 総合的な判断で候補地として最適

認定こども園の建替え候補地について

問 現在9カ所の候補地のうち、現在地中心が4カ所、中学校、すこやか広場、しおかぜ通り沿いの私有地2カ所、旧NTT西側が候補地になっているが、この9カ所以外に、別の場所を検討したのか。

町長 この9カ所が候補地として最適かどうか、そういう判断をしている。9カ所以外は検討していない。

問 以前から、現在地周辺は台風などで浸かった経過があるので、別の安全な場所を検討してはと質問をしていたが、9カ所以外は探してもいないし、検討もしていないということなのか。

町長 そういうことになる。

問 今回、第一候補地、第二候補地に選ばれた現在地周辺は、災害影響区域に該当している、共にかさ上げが必要となっている。なぜ、災害影響区域に該当している現在地周辺にかさ上げをしてまで園舎の建替えをするのか。

町長 町づくりの総合的な判断の中で、候補地として最適だと思う。

また、浸水の場合は事前に水位など予想ができ、避難の対応もとる事ができる。そういった観点から決まった。

問 一番肝心な安全面を最優先に考えて欲しい。かさ上げるから大丈夫、また2階建てにするから大丈夫では

なく、園児達が安全に学べて、安全に通園できる場所を最優先に考えては。

町長 100%安全という事はない。災害が起きる可能性は、昨今の状況ではあり得ると思っている。安全対策に関する避難行動であるとか、色々な対応策を考えてやっていく事が、町づくりの大事なところだと思っている。

大庭認定こども園との統合は

問 以前から質問している大庭認定こども園との統合について、どのような検討をしてきたか。

町長 前町長時代から残すという方針がでている。保育は親の近くで、地域に保育園はあるべき。継続して残していく方向で考えている。

問 児童数の推計で、10年後には浜坂認定こども園は約100人、大庭認定こども園は63人。今後、子どもの数が減っていく中、浜坂と大庭の統合は必然的だと思いが。

町長 人が減るから減らせという単純な議論にならないように、増やしていけるような町づくりの方向性、活力ある町にしたいと思っている。



浜坂認定こども園入り口周辺の道路も冠水。安全な場所を検討すべきだ。

来町者150万人達成へ何を重視するのか

町長 町の魅力を高めることが一番重要



森田 善幸 議員



**来町者150万人
達成の目標は**

問 目標達成は令和何年か。

町長 浜坂道路Ⅱ期工事が完成予定の令和6年度に達成したい。

問 そのための年次計画と、部門ごとの施策は。

町長 毎年10万人ずつ増やしていきたい。個別の計画は作っていない。現状を検証して具体的な計画を作りたい。

**宿泊客増加の施策
について**

問 自然災害の多かつ

た昨年よりも、今年の宿泊客はさらに減っている。そうした中で外国人旅行者のみが増えている。弱点を補うよう

り、増えている者を増やす方が取り組みやすい。外国人旅行者をさらに増やす施策は。

町長 台湾とのプロモーション事業も充実を図っている。また、本町のすばらしい食材をPRして、さらに魅力を高めていきたい。

問 国内旅行が低調な中、体験ツアーの人気は高い。本町の魅力ある体験ツアーを麒麟のまち観光局等で企画できないか。

町長 いなか体験協議

会など、体験プログラムを作って、今後推進を図るように考えている。麒麟のまち観光局

についても、鳥取市と連携して、インバウンドを含めた体験コースを作っていくたい。

問 観光客に魅力的な回遊性のある街並みを作るために、空き家を

活用した拠点づくりを、行政・関連団体・民間との協働で、できないか。

町長 現在、空き家リフォーム助成制度があるが、空き店舗にさら



健康風呂の改修でリフレッシュ館は健康増進と観光振興の一大拠点である。

に助成ができるように見直しを図って強化していきたい。

問 湯治を含め健康増進を目的とする来町者獲得のための施策は。

町長 おんせん天国室を中心に温泉の健康効果の実態等を調査し、今後の活用を検討している。入浴施設には温泉入浴指導員を養成し、配置していきたい。

**巨大風力発電の観光
業への影響は**

問 外資系事業者が計

画している巨大風力発電事業の工事期間中の観光産業への影響についてどう考えるか。

町長 工事に伴う大型車両などの走行が増え、搬入経路が観光拠点に近い場所に設定された場合、観光客の移動などに影響が出る。

問 工事終了後についての影響についてはどうか。

町長 発電施設の存在で、自然豊かな景観が損なわれる。

問 施設だけでなく、作業道やその擁壁による景観の阻害、有害鳥獣が作業道から街や国道等に下りることによる人的被害や、交通事故の多発などの恐れもあり、観光面という切り口でも悪影響だらけだ。

町長 引き続きストップ風力発電を県にも国にも訴えていきたい。



阪本 晴良 議員



浜坂地域の0歳児保育を早急に実施すべき

教育長 ニーズが非常に多いのでしっかりと取り組む

巨大風力発電の現状について

問 機材の搬入計画や環境影響調査など事業が遅れていると思うが。
町長 現状は、高山にある風況観測塔に加え、電波を利用した風況観測装置を10月下旬に設置し、2台で半年から1年程度で風況の状況を精査する。搬入ルートや環境影響調査は現在休止していると報告を受けている。

会計年度任用職員の見込状況について

問 フルタイムとパートタイムの振り分けはどのような基準か。
町長 年間を通じての業務の量や内容を精査し判断する。
問 前歴換算の方法は。
町長 全く初めての採用者は別として、現在協議中である。

うなるのか。
町長 客観的な能力の実証が必要であり、初年度は選考試験か面接を実施する。次回からは、能力実証ができれば毎年応募し、採用する。定年はなく、能力が実証されれば、年齢に上限はない。
問 在職中の臨時・嘱託者との説明はどうなるのか。
町長 1月上旬に関係機関との調整し、その



高山区に新設された電磁波による風況観測装置

浜坂認定こども園の整備について

後対象者に説明する。選考試験は1月下旬に受付し、2月上旬に面接試験をしたい。なお中旬には決定したい。

問 同園の整備のあり方で大庭、浜坂の2園を建設するところがあるが、どのように特徴的な運営をしていくのか。
教育長 大庭は、さきゆりや浜坂の郷の老人施設との交流を行い、浜坂は畑づくりで交流し、地域にも出かけている。その中で優しさや、思いやる心などを育てている。

問 選定基準にある財政的にはどのような検討をされたのか。
町長 現在地であれば、経費的には約10億円との説明をしている。

教育長 検討委員会では候補地ごとには示していない。

問 温泉地域では1園

で運営しているが、浜坂地域では3園を維持する整合性をどう考えているか。

町長 温泉地域は1園にした結果人口減少が著しい。もっと広範な視点で考えるべきである。

問 浜坂認定こども園区域の0歳児保育はこども園を建設するまでの間、早急に実施すべきと考えるがどうか。
教育長 今の段階では来年度からは難しいが、絶対必要なことであり努力する。

旧熊谷小学校を活用せよ

問 年間の管理費はどのくらいか。
町長 電気・水道・浄化槽代など約90万円である。

問 民間に売却、貸付などの利用を考えてはどうか。
町長 10億円かけた学校であり、地元と活かし方を相談し進めたい。

浜坂認定こども園の早期整備を求める住民の声を反映させて

町長 総合的に判断する中で現在地周辺が最適候補地である

浜坂認定こども園整備について



重本 静男 議員



問 第2期「浜坂認定こども園整備検討委員会」による建替え候補地選定に係る検討結果報告書が、町当局に提出された。答申に自信の持てる候補地がみつかる。

町長 洪水浸水想定区域域内で100%ではないが、町づくりの総合的な観点から、この位置が最適だと思っている。

問 洪水浸水想定区域でありながら選定した根拠を問う。

教育長 課題はあるが、その中でとれる安全策

を検討している。地盤のかさ上げをし、園舎を2階建てにして2階に避難場所を設ける。また、岸田川の堤防より高くする。万が一のときには、屋上からへり避難するなど安全対策を講じて子供たちへの安全もしっかりと担保できるように考えている。

問 他の候補地と比べて適地と思うところは。

教育長 現在の候補地は、41年間住民の皆様は大変親しまれた場所である。海・山・川など自然環境に恵まれ、近くに、図書館、以命亭があり幼児教育に適

した環境である。



危険建物と判定された園舎の整備が急がれる。

ふるさと納税について

問 保護者の60%の方が、現在地とその周辺と回答しているアンケート結果がある。浜坂自治区長等293名の現在地で早期整備を求める要望書、900名を超える地域住民からの要望書をどのように受け止めているか。

町長 地域の方々の大半が検討委員会の決定地を望んでいると判断している。

問 平成20年度に総務省が取り組み始めてから12年経過し、本町は10年遅れで本格スタートしたところである。この財源をもとに、どのように子育て支援をするのか。

町長 町民懇談会でご意見をいただいております。浜坂高校における通学の補助、高校生までの医療費の無償化など検討している。

ど検討している。

鳥獣処理施設について

問 10月より念願の鳥獣処理施設が稼働した。監視委員会が狩猟期間の個体の受け入れと土曜日の解体業務の実施が承認されたところだが、散弾銃で捕獲したシカ・イノシシの受け入れは可能か。

農林水産課長 基本的に可能と考えるがペットフード会社と協議をしながら進めていく必要がある。

問 将来的に、本町でペットフードの生産、販売ができる会社の設立の考えは。

町長 多可町では障がい者雇用で多くの人が働いているが、障がい者のみならず、働く場が増えればとの思いもあり、今後の検討課題としていきたい。



中井 次郎 議員



保護者から「現在地」での改築を求める声

町長 検討委員会の結論を尊重

**部屋の床にささくれ
改築が急がれる**

問 現在の建物は昭和53年に新築され、40年以上経過している。改築が急がれる。実際に見てみると、雨漏り、窓のサッシを開けても閉めることが出来ない。壁が落ちる、4歳児の部屋の床はささくれ立っており、ガムテープで補修している。職員からは「現在地での改築を」との声が聞かれた。現在の状況をどの

ように認識しているか。
教育長 こども園に行くたびに、施設面で本

当に苦勞を掛けている。狭い園舎の中でいろいろ工夫をしながら教育・保育に当たっている。本当に心苦しい。建設が急がれる。子どもがささくれ立った床だけがをしたこともある。

土地取得にかかる期間

問 現在地で改築した場合、土地の取得にかかる時間は。

教育長 現在地であれば、買い足しというところで、農地転用の手続きに3カ月などかかる。
こども教育課長 地権者には、事前に意向を尋ねており、前向きな返事をいただいている。

検討委員会は全会一致か

問 ①第2期浜坂認定こども園整備検討委員会の結論は「現在地での改築」となっている。これは全会一致なのか。②保護者がアンケートを取ったが、その60%が「現在地での改築」に賛成となつて

いる。これに間違いがないか。
教育長 どちらもそのとおり。

問 町長は検討委員会の結論をどのようにとらえているか。

町長 内容は重い。それを尊重して現在地での改築を進めたい。

地域の目が行き届く環境にあることが大切

問 幼い子どもの施設は、地域の目が行き届く環境が大切だ。現在

地ならば民間スーパーもあり、郵便局・図書館がある。最もふさわしい場所だ。自然災害と不審者が侵入した場合はどうか。
教育長 地域の目も大切だ。

**40年間一度も浸かっ
ていない**

問 こども園は午前6時30分までに警報が発令された場合は園児は登園しない。登園後警報が出た場合、保護者の迎えがある。これに間違いはないか。また、100年に1度の災害と言われた平成2年19号台風でも、浜坂認定こども園は浸かっている。そのとおりか。
教育長 警報時の対応はそのとおり。全てのこども園や学校で同じことがされている。開園以来40年間、水に浸かっている。



改築後0歳児保育が予定されている
浜坂認定こども園

移住定住の推進は生活するための環境づくり

町長 地元で定住、就労いただく奨励制度を検討したい



中村 茂 議員



問 本町の移住定住施策の方向や具体的な展開は何をもとに行っているのか。現状の評価は。

町長 平成27年に策定した町地方創生総合戦略と平成28年第2次町総合計画の重点戦略の施策の基本的方向の一つに掲げ、進めている。しかし、非常に低調で十分な施策展開ができていないと実感している。

問 本日の日本海新聞に香美町「地方創生総合戦略の2期総合戦略において、若者の移住定住促進の継続」の記事があった。承知して

いるか。

町長 新聞を読み、一歩、二歩進んでいるという感じを受けた。

結婚対策の動きは

問 昨年12月一般質問で、出生数の減少を通じて結婚対策を意見した。その後の動きはあるのか。

町長 今年3月から麒麟のまちの婚活サポートセンターへ加入した。ことしの実績として既に5組が婚活イベントで成立したと聞いている。

問 広域圏での対応を言われたが、人任せで

はなく直に汗をかく、町として直接の対策も必要である。

地元就職が減少

問 27年浜坂高校生アンケート「Uターンしたい」が約4割。定住志向の変化はあるのか。

町長 浜坂高校生の定住志向については、具体的なデータを持っていない。地元で定住してもらうことが一番、地元に残るメリット、特典をつける必要がある。受入れ事業所も含め、地元での定住・就労に向けた奨励制度を検討したい。

ランキングを分析すべき

問 「田舎暮らしの本」(宝島社)「住みたい田舎ベストランキング」では、2019年総合ランキングで「鳥取県



「おいでや！いなな暮らしフェア（7月大阪）」には全国から300を超える自治体が参加。「仕事・結婚子育て・住まい」等、着実な町づくりが評価される地域間競争の場である。

鳥取市」が大きな町で連続1位を獲得。小さい町では6位養父市、10位朝来市、本町は何位だったのか。分析はできているのか。

町長 他の町との比較検討は非常に重要で最も気になる部分である。選んでいただけの町になるということが移住定住の大きな鍵。本町はランキングされていない状態である。各種

の優遇策や補助制度が少ない等、分析と対策を講じたい。

問 移住定住の推進は、本町で生活するための環境づくり。町のプロジェクトにすべきでは。

町長 移住定住が非常に手薄い状況にあると反省をしている。6つ目のプロジェクトとして移住定住チームができるかどうか、改めて検討したい。



浜田 直子 議員



働きやすい町づくりと子育て環境の整備で 人の集まるベッドタウンへ

町長 この町で元気で生活できる環境づくりに取り組む

町民の温泉利用促進について

問 家庭に温泉配給されていない地域も多い。町民の方が温泉を利用し温泉の良さを身近に感じることがおんせん天国の住民として一番大切。利用しやすい町内温泉施設利用可能な共通チケット、パスポート、家族券、親戚ま

とめてお得券のような券を発行しては。
町長 町民にとって温泉の恵みの享受が一番大事。検討したい。

問 観光客用の温泉めぐりパスポートの種類を1日、1カ月、半年、年間で発行しては。サウナの要望も多い。

町長 公営施設の温泉めぐりは可能。検討する。

問 サンビーチに遊べる露天風呂。浜坂地域内にも古い街並みにある温泉屋外施設等の設置は。

町長 歴史や文化を温泉とどう合わせ、難しいが面白いテーマである。各地を参考に研究する。

町の魅力周知と増加を期待し、男性・女性も活躍できる町となるような対策は

問 自然環境、豊富な食材、日本遺産等の伝

統文化に育まれた人柄、高規格道路の開通により、豊岡、鳥取の中間地という好条件となり、観光客も増え、ベッドタウンの可能性もある。現状は、高校卒業後、都市部へ出ることが多い。若者が町の魅力を知り理解し住みたくなるようなふる里愛を育むには。町の魅力のアピール方法の検討は。

町長 温泉を軸にした町、魅力ある町にする必要がある。実態は働く場所が少ないが、女性・若者も残り活躍できるよう力を入れる。

問 豊岡市は、「若者の回復率が大切、人口減少、女性の減少はまちの消滅につながる。」との考えから、女性も活躍できるまちを目指し、ワークイノベーション推進室を設置している。また、小さな国際都市を目指し人の増加が見込まれている。一緒に人の流れを活か

す考えは。

町長 女性が残ると子どもも増え、活気ある町になる。

問 豊岡市民になった平田オリザ氏は、「人が動くのは働く場所だけでなく女性の意見が重要。女性は、まず子育て環境、教育、文化、医療などを比べる。」と講演していた。それを踏まえた取り組みは。

町長 その通りだ。土地の良さと環境の良さを活かす。

問 無限の可能性と地域の宝である子ども達のためにも、早急に新しい認定こども園を改善し、子育て環境の整備が必要。整備検討委員会答申を尊重し、町民からの現地での早期整備の900名超の要望書も出されている。

町長 女性が、子ども達が、元気で生活できるように、環境づくりに力を入れる。



子育て環境の整備で町のイメージアップに
(浜坂子育て支援センター)

消費税の増税でなく、富裕層の増税を

町長 国会議員は、地方や年金生活者の実態を知るべき



日本どこでも
このマークのお店なら
キャッシュレスで
最大 **5%還元**

キャッシュレス・消費者還元事業 消費者還元期間:2019年10月~2020年6月

ポイント還元制度とは
お近くの対象店舗でクレジットカード・デビットカード・電子マネー・QRコード等を使って代金を払うとポイント還元が受けられる制度です。

消費税増税は低所得者ほど負担増。
ポイント還元も活用できない。



谷口 功 議員



消費税増税の影響は

問 消費税10%への増税で、暮らし・生業にどのような影響が出ているか。

町長 税率変更に係る準備、対応に係る労力、費用の増加。消費の減

少。軽減税率導入による税率区分の経理上の煩雑化などがある。

問 暮らしへの影響はどうか。物価や医療・介護の負担が増え生活が大変だとの声がある。

町長 政府は軍事費にお金をつぎ込み、介護

や国保、年金引き下げで生活が追い込まれる。

問 消費税3%導入直後の1990年、国の

税収総額は60兆1千億

円。2018年、消費

税8%時の税収総額は

60兆4千億円と、わず

か3千億円しか増収し

ていない。大企業や富

裕層の法人税や所得税

の減税が消費税に置き

換わっただけだ。医療・

介護や教育・福祉に回

す余裕がないことがよ

くわかる。

町長 その通りだ。大

企業の内部留保は約

400兆円以上、違和

感を覚えている。

問 この消費税導入や

増税を求めているのが

経団連だ。

町長 大企業中心社会

だ。決めるのは国会議

員だが、選ぶのは国民

だ。国民一人ひとりが

もっと考える必要があ

る。

激甚化する自然災害にどう対処するか

問 9月から10月にか

けて3つの台風が東日

本で猛威を振るった。

昨年の西日本豪雨を上

回る深刻な被害であっ

た。箱根町で総降水量

が1千ミリ、千葉では

瞬間最大風速が60メー

トルを超えるなど、観

測史上最大を記録した。

識者などは今後さらに

激しくなると予測して

いる。町長はどのよう

に考えるか。

町長 いつどこでも大

災害は起こり得る。昨

年度日本が世界で一番

災害被害が多い国だっ

た。危機意識を常に持

つことが大事だ。

問 なぜこれほど台風

が巨大化するのか、多

くの識者は温暖化によ

る海水温の上昇を指摘

特に日本海の能登沖の

海水温上昇が1.7度

と一番大きい、日本に

近づくにつれて減衰する台風がむしろ発達しながら接近・上陸しているためとしている。

過去の事例で考えるのではなく、新たな災害の対応策が必要ではないか。

町長 想定地域もそうでない地域でも、災害はどこでも起こりうる。

浜坂認定こども園は安全第一に

問 浜坂認定こども園の建て替え用地は、自

ら避難することが困難

な乳幼児を預かる施設

であり、より安全な地

域を選定すべきだと考

えるが、いかがか。

町長 生命や安全を守る

のは当然だが、総合

的判断が必要だ。まち

づくりの観点からも考

える必要がある。



太田 昭宏 議員



子どもの数が減少する今、攻めの教育を

町長 可能性に挑戦する

子ども議会について

問 子ども議会での、中学生の態度や将来の視点に立った質問内容は素晴らしかった。一方、答弁は現状説明が多かった。工夫、改善が必要ではないか。

町長 質問には、新しい発想があった。次の一手をどうするか、応えられるようにしたい。

問 子ども議会は、ふるさと教育の一つだ。中学生が、町の将来を思い質問したことに、真摯な答えが返ってくる



将来に向けて質問が多くされた子ども議会

人権について

問 人権とは、「人々が生存と自由を確保し、

れば、この町に住む価値を考え、町のために何かをしようとする意欲や態度が育つと思う。**町長** 教育は、自分が住んでいる町を知ること。話し合いの場や交流の場は、自分自身を高めてくれると思う。

それぞれの幸福を追求する権利」と、人権擁護推進審議会の答申は定義している。しかし、部落差別によりこの権利が著しく侵害され、様々な差別を受けている現実が今なおある。平成28年に制定された「部落差別解消推進法」について、どう理解しているか。

町長 現在なお、部落差別がある。国や地方公共団体の責務、教育と啓発などを法律で定め、部落差別解消を目指すものである。**問** 学校では、どのような教育、どのような啓発を行っているのか。**教育長** 人権学習の中で、道徳など、いろいろなところで、いろいろな人権について学んでいる。

公立浜坂病院について

問 医師不足、看護師不足等の課題はどうなっているか。

町長 四月以降、4名の看護師を採用。今年度中に2名採用予定。

問 高規格道路が完成すれば、鳥取中央病院まで30分弱。浜坂病院の役割は変わるのか。

町長 回復期病院としての機能、役割をさらに生かす。

問 オンライン診療などの取組みも、検討の必要があるのでは。**町参事** 情報の収集に努めている。

教育の将来について

問 数年先には、町内すべての小学校が、小規模校、過小規模になる。さらに、複式学級も増える。どのような構想で教育の充実を図っていくのか。

教育長 小規模校を活かした教育の工夫が必要である。

問 小規模校同士が、行事や授業で交流する小・小連携が必要ではないか。

教育長 とても大切な連携だと思う。

問 漁村留学、農村留学、畜産留学など、都会の小学生を受け入れることはどうか。

町長 体験留学、体験入学などの重要性は認識している。今後検討したい。

問 教育課題を解消するために、アイデアを聞き、可能、不可能の前提なしの検討、取組みが必要ではないか。**町長** 可能性に挑戦することは、大事な。

こども園整備検討委員会の議事録をHPで公開せよ

町長 基本的には公表がよいと思う

給食での地産地消により農業振興をはかれ

問 給食で常時使用する米・野菜、町内食材の利用率は**教育長** 平成29年度から米は全て町内産。野菜は約3割である。**問** 道の駅ができて生産グループも増えてきた、給食のために計画的に野菜を作っていた、契約農家の形をとってはどうか。**町長** 農家の高齢化、後継者難があり難しい。単価が低く儲けが少ない現状がある。**問** だからこそその地産地消。給食で需要を生むことによって儲けが出る。そこをスタート

平澤 剛太 議員



地点にすべきだ。

教育長 100円もののをいくら作っても、

単価が上がらない。いかに収益性を上げるかが鍵。温泉を活用したハウス栽培などを研究したい。

浜坂認定こども園の実情は保育所

問 在園児の内訳、幼稚園と保育所の人数は。**こども教育課長** 11月時で、幼稚園扱い12名、保育所扱い112名。**問** 幼稚園扱いは1割もない。こども園に求められる機能は保育だ。そのうえで問うが、

役場内の候補地選定審査会でどのような意見

があったか。

町長 農業振興地区内であること。浸水想定の深さ。道路の状況など。購入面積は小さいほうが良いという意見が出た。

庁舎内の議論に防災担当者は加わらず

問 整備検討委員会の議事録からは、終始、

現在地中心とした場合の防災上の心配が議論されたのが分かる。なぜ防災担当は入っていないのか。

町長 整備検討委員会でデータも示されている。兵庫県での防災担当者からの意見も入った結論だからだ。**問** 園の避難確保計画を受けて連携するのが町民安全課。例えば町道が冠水したらどうなるか。**建設課長** 通行止めにする。**問** 堤防が決壊せずと

も、周辺道路は冠水する。だから、園と防災担当との連携が必要だ。検討委員会の議事録も公開する必要があると思うがいかがか。

町長 多くの方に知らせるということで、基本的に公表がよいと思う。

保育所としての機能の確保を

問 情報が提供されな

い中での保護者アンケート、現在地支持には環境が変わることへの不安もあるのでは。警報が出れば迎えに来てもらうというが、すぐに行ける保護者ばかりではない。避難について心配される場所に建てるのか。

町長 ここでなければ避難不要というのは間違いだ。認識を改めて欲しい。

平成29年9月道路冠水。降雨量と海水面の状況で、浜坂認定こども園周辺は水に浸かる。

総務産建常任委員会

12月11日開会

農林水産課

水産振興事業補助金

Q 従来の漁船保険補助率の差の理由は。

A 平成25年当時一律20%の要望もあったが、大型船が高額であることから差ができた。この度の改正で、経営安定のため、大型船も新造船に限り同一補助率で助成する。

桐岡立木伐採損害賠償額の決定及び和解

Q 国家賠償法を根拠に賠償するが、原因者の公務員まで及ぶのか。

A 弁護士の見聞も聞き、重過失の判断のもとで自主返納との形となった。職員を守る意味もある。

建設課

Q 浜坂地域の除雪時間を早める意見をしたが、その後の経過は。市街地の改善は。

A 県土木の除雪時間

を早めることは難しい。町道関係は業者調整し対応する。市街地は除雪ボランティアの受け入れも考える。

企画課

巨大風力発電の現状

Q 風力発電については、兵庫県の動きは。

A 県では、騒音規制基準の見直しについて、環境審議会で検討を進めている。同計画反対への大きな支援となる。

浜坂高校通学支援

Q 生徒に対するバス通学費の支援について、次年度より定期券購入に係る費用を減免する案で進めているということだが、不公平感に對する対応をどう考えているのか。

A 従来からバス通学の支援を行っている。浜坂高校の支援でもある。

商工観光課

霧ヶ滝・小又川溪谷自然公園駐車場条例の制定

Q 霧滝駐車場のトイレの設置は。事故のあったシワガラ滝の安全対策は。

A 東屋のみでトイレは無い。事故後、警察なども交えて指導を受けており、可能な限り対応する。

マイナポイント利用店舗拡大支援

Q マイナンバーカード普及のためのプレミアムポイント事業、中小零細店には酷な制度

だ。委託先の商工会に十分な個店説明をするよう指導すべき。

A 多くの店舗に拡大できるように、強く指導したい。

総務課

桐岡立木誤伐採事件

Q 農林水産課職員は減給1/10が2カ月。町長・副町長は監督責任で1/10が1カ月。差はなぜか。

A 管財係は財産管理の範囲で農林水産課につないだ。農林水産課は原因者であるから重い判断となったが、賠償額の補填では町長・



来訪者増加により、さらなる安全対策が求められるシワガラ滝

副町長が多くなる。

Q 財産処分の手順では、最初の総務課管財係の判断が問題だ。農林水産課職員の重大な過失というには疑問を持つが。

A 重大な過失は弁護士の助言も受け、「著しい注意の欠如」との判断となった。

ふるさとづくり寄付条例の一部改正

説明 ふるさと納税寄付金の効果的な活用を図るため、事業区分に「町長が特に必要と認める事業」を追加する。また、金融機関等の保険事故に対応するため改正を行う。

Q 条例の事業区分と規則の事業区分に重複がある。町長の特任事項は極力避けるべき。クラウドファンディングの視点も加えるべき。

A 指摘の点は本会議までに整理する。

民生教育常任委員会

12月12日開会

子ども教育課

子ども議会アンケート結果

Q 子ども議会開催の目的を確認し、生徒の意見を受け止め、可能な取り組みは実施するなど、丁寧な事業運営を行うべきだ。

A ふるさと教育の一環として、事後の学習にも取り組んでいる。今後、更に検討する。

事業
つども園給食費軽減

Q 3〜5歳児だけでなく、0〜2歳児の給食費も軽減を。

A 3歳未満児の給食費は保育料に含まれる。県の軽減制度があることから、他市町でも実施例がない。

浜坂認定こども園建替え候補地について

Q 早い開園を望むが、現候補地での開園予定はいつか。

A 令和4年4月の予定である。

定である。

Q 現候補地で建替えた場合、警報が出れば避難するので安全は確保されるとの答弁であった。避難はどの段階で誰が決定し、実施するか。

A 警報発表時点で、園長が休園決定、保護者に迎えの要請を行う。その後の避難指示は、教育委員会が行う。

Q 整備検討委員会の検討候補地Cは委員会の中の各意見により除外されたが、それらの意見が何故、安心・安全を確保することより優先することになったと考えるか。

生涯教育課

A 委員会の決定であり、こども教育課ではコメントできない。

Q 鉄骨の溶接状況全

個所調査は工事に含まれているか。

A 含まれていないが、監理者と協議して安全な施工に努める。

Q 建築確認申請を民間に委ねたのはなぜか。

A 県民局から、民間の機関に申請した方が良いとの助言もあり、決定した。

Q 既存部分の、建築基準法上の完成検査がないことは理解しているか。発注者として、その対策は。

A 特段の想定はないが、発注者としての検査等により、完全な施工を求めていく。

健康福祉課

障がい福祉・グループホーム整備

Q 募集する事業者へ、運営内容に関する要請はできるか。

A 現時点では、事業内容に踏み込んだ想定はしていない。

Q 1棟で定員10名とは、対象・性別を含め、どのような想定をしているか。

A 町が提供する敷地が260㎡。2階建てとし、男女のフロア分けでの利用が想定される。

医療費の助成について

Q 高校生への福祉医療拡充のために、高齢者の制度を縮小するものか。影響が大きい。所得制限で工夫すべき。

A 高齢者については県の制度が小さく、町単独分が多い。他の制度を参考に検討する。

公立浜坂病院

医療スタッフ採用状況

Q 現在の状況は。

A 看護師等のスタッフは順調に採用できてきたが、整形外科医の採用は未定だ。来春採用を目指して努力している。



高校生医療費無償化を検討。しわ寄せで65歳以上の方が負担増とならない工夫を

請願書・意見書

採決一覧・議会日誌

請願書・意見書

● 新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について

【全員賛成で可決】

● 厚生年金制度への地方議会議員の加入を求める意見書の提出について

【賛成多数で可決】

お詫びと訂正

令和元年10月発行の議会だより第56号P.18において「新温泉町前・長楽寺」とあるのは、「新温泉町前・正楽寺」の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

一般質問の動画QRコード掲載を開始

新温泉町のホームページでは、議会一般質問の動画を配信しています。スマートフォンをお使いの方は、QRコードを読み取りアプリを使用して簡単に動画を見ることが出来ます。



第97回定例会 議案採決一覧表

議 案 名	議 員 名																賛成	反対	採決
	1 池田宜広	2 平澤剛太	3 河越忠志	4 重本静男	5 浜田直子	6 森田善幸	7 太田昭宏	8 竹内敬一郎	9 阪本晴良	10 岩本修作	11 中村 茂	12 宮本泰男	13 中井次郎	14 谷口 功	15 小林俊之	16 中井 勝			
新温泉町ふるさとづくり寄付条例の一部改正について	総務産建常任委員会に附託し、継続審査																		
令和元年度新温泉町一般会計補正予算(第3号)に対する修正案	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	-	10	5	可決
令和元年度新温泉町一般会計補正予算(第3号)について(修正部分を除く原案)	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	12	3	可決
損害賠償の額の決定及び和解について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	14	1	可決
新温泉町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	-	13	2	可決
令和元年度新温泉町一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	-	11	4	可決
厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	12	3	可決

○は賛成、×は反対、－は議長職のため採決に加わらない。(全員賛成議案 21 件は省略)

議会日誌

1日	北但行政事務組合議会運営委員会(豊岡市)
3日	議会広報調査特別委員会
8日	北但行政事務組合議会定例会《豊岡市》
10日	議会広報調査特別委員会
11日	兵庫県町議会議長会評議員会議《神戸市》
16日	兵庫県町議会議長会議員研究会《多可町》
18日	北但行政事務組合議会定例会、議会運営委員会《豊岡市》
30日	総務教育常任委員会
8日	全員協議会
12日	全国町村議会議長会創立70周年記念式典及び第63回町村議会議長全国大会並びに意見交換会《東京都》
14日	議会運営委員会
15日	美方郡広域事務組合議会運営委員会
18日	第96回新温泉町議会臨時会
18日	全員協議会
25日	美方郡広域事務組合議会全員協議会、臨時会
27日	北但行政事務組合議会臨時会《豊岡市》
28日	兵庫県町議会議長会正副委員長研修会《神戸市》
29日	議会運営委員会
29日	総務産建常任委員会
4日	議会運営委員会
4日	第97回新温泉町議会定例会
5日	議会広報調査特別委員会
6日	全員協議会
10日	総務産建常任委員会
12日	民生教育常任委員会
13日	美方郡広域事務組合議会運営委員会
16日	総務産建常任委員会
25日	美方郡広域事務組合議会臨時会
26日	議会広報調査特別委員会



挿し絵 木本博明氏

短歌で育む豊かな感性

浜坂ゆづり葉短歌会

代表 西村清野

活動内容…月1回例会を開き、自作短歌を2首持ち寄り、推敲して仕上げます。毎回楽しいひと時を過ごしています。それを、毎月会誌にまとめ、発行しています。

一人1首、新温泉町文化祭、文化会館近隣文化祭に出展しています。

毎月1回新聞にも掲載されています。

町内に出かけて吟行会を開くこともあります。

いつから・きっかけ…50年前、初代講師・松森一三氏の呼びかけで、短歌をたしなみたい有志が集まり発足しました。

メンバーは…現在は新温泉町民7名です。

昭和、平成、令和と時代を重ねるとともに、短歌を通じて、その時々につながりを広げています。短歌会では短歌を通じて会話が広がるのが楽しみです。

気持ちよく分かち合い共有することにより、自然ときずなも芽生えています。

ポイント…浜坂ゆづり葉の作風は、万葉の古えより日本の誇る文化に敬意を表して旧仮名使いと、飾らない表現です。近年は花



鳥風月を愛でる穏やかな短歌が多いです。旧仮名使いや古くからの言葉には、趣もあり言葉が増えることにより表現力にも幅が広がります。

毎月短歌を作ることによって、今まで気づかなかったことに目が向くことも増え、自然や世の中の移ろいも楽しめ、人生を豊かに感じています。

今後の抱負…新温泉町では一番長く続いている短歌会グループです。50年間続いているこの会を、できる限り長く無理をせず続けていきたいと思っています。これからも和気あいあいと続けていきたいです。

皆さんにお願いしたいこと…

短歌を作ると、生活の中で発見があり、新鮮です。そんな日々を一緒にしませんか？はじめは、みんな、初心者。

その他なんでも…令和元年7月に月間会誌が600号となり、増え続ける喜びを感じています。

発足当時は、ガリ版で作っていた月間会誌も、ワープロ、パソコンと変わってきています。ガリ版のころを懐かしく思います。

編集後記

新元号「令和」になって、初めての正月を迎えました。

議会広報調査特別委員会はメンバーの交代があり、3名が初めての委員になりました。常任委員会は3つが2つになり、新しくスタートしています。

今年は新温泉町に合併して15年目を迎えます。人口減少・少子高齢化の影響により、厳しい財政状況が続くことが予想され、新たな発想と視点で、斬新かつ効果的な事業の構築が求められます。

希望と活力あふれる町を築くために、住民同士や地域とのつながりを大切にして、新たな時代を開いていく1年であるよう願っています。

(K・T)

議会広報調査特別委員会

委員長	阪本晴良
副委員長	平澤剛太
委員	河越忠志
	浜田直子
	森田善幸
	竹内敬一郎

発行者 議長 中井 勝